

2024年6月11日

令和6年度 名古屋市地域公共交通協議会 【千種mobi状況報告】

名鉄タクシーホールディングス株式会社
株式会社あんしんネットなごや
Community Mobility株式会社

1. 実証期間の運行実績・振り返り

【運行実績報告】（21年12月～24年5月31日時点）

- （1）実証実験の内容
- （2）実証実験の進捗共有
- （3）アンケート調査結果

2. 実証4年目（本格運行）に向けた考え方

- （1）実証運行期間の総括
- （2）①【地域への取り組み】千石コミュニティセンターとの法人契約
- （3）②収支構造【運賃収入と非運賃収入】
- （4）②参考：非運賃収入に関する他エリア事例
- （5）千種エリアにおける非運賃収入の拡大に向けて

実証期間の運行実績・振り返り

- ✓ 2021年12月から開始した、相乗り型オンデマンドサービス mobiの実証実験の報告
- ✓ 報告対象期間は、2021年12月6日から2024年4月30日まで

報告事項

1. 実証実験の内容
2. 実証実験の進捗共有
3. アンケート調査結果

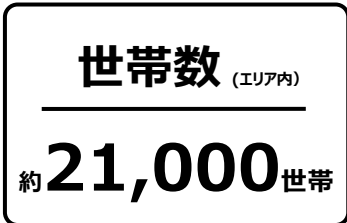
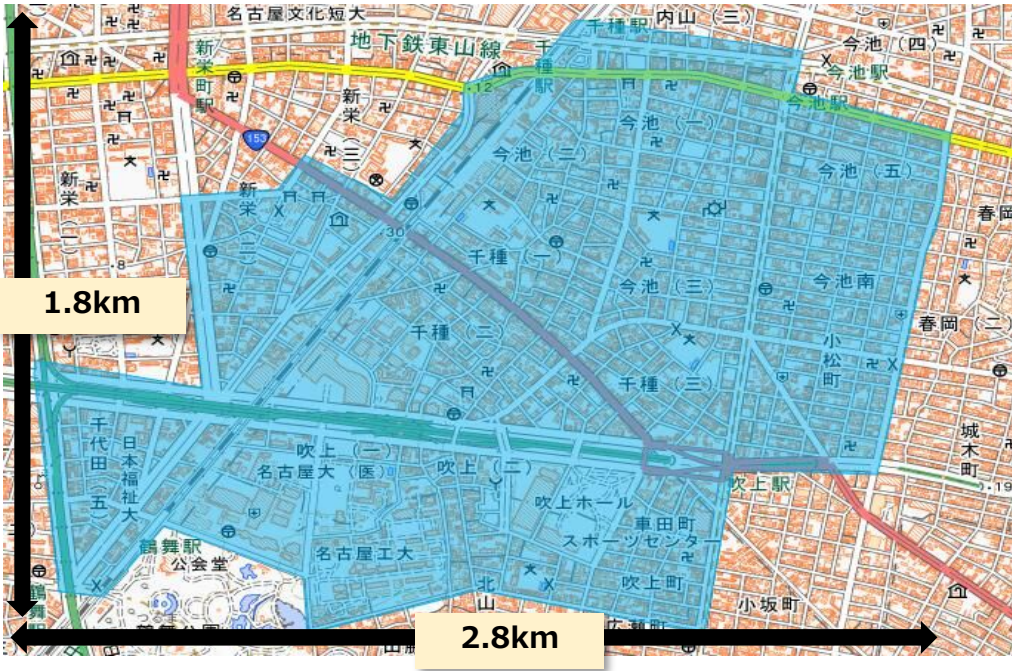
1.実証実験の内容-概要及び実験区域

■ 概要

項目	提案内容
背景 (要約)	● 2021年から実証を開始して以降、利用者は約10倍に増加するなど、千種区において「エリアオンデマンド交通」の受容性については、ある一定の検証ができたと感じている。一方で「事業の継続性」や「社会課題の解決」、「既存交通との連携」についての取り組みや検証は、地域住民の皆様、エリア内の法人の皆様、自治体をはじめとした関係各所の皆様との丁寧な協議、連携が今以上に必要と考えている。ゆえに、実証3年目については、道路運送法第21条の元、実証実験を継続していきたい。
実験期間	● 2021/12/6~2024/12/5(予定)
運行事業者	● 名鉄交通第三株式会社 / 株式会社あんしんネットなごや
運行区分	● 道路運送法21条
営業区域/ 運送区間	● 愛知県名古屋市鶴舞、千石地区周辺約1.3km×約2.8kmの運行
運行経路	● 予約に基づきシステムが自動生成した経路を運行 (AIオンデマンド型交通)

■ 営業区域情報

・営業区域MAP



1.実証実験の内容-実験の運行方法

■運用内容

項目		内容
予約	手段	● スマートフォンアプリ、又は電話
	受付時間	● スマートフォンアプリ：7時～22時 ● 電話：10時～19時
運行態様		● 営業区域内においてアプリ上で仮想乗降場所を表示し、 運行ルートは定めず自由経路で運行する方式
運行車両		● ハイース2台 ※お客様のご予約状況により変動
運行時間	時間帯	● 7時～22時
	間隔	● 15分に1便 ※1台1時間あたりに最大4便運行すると仮定

■運賃/支払方法

・運賃設定表（21条申請時資料から抜粋）

運賃及び料金の種類			運賃及び料金の額
普通運賃	片道	大人	300 円
		小児	大人 普通旅客運賃の半額
		幼児	同伴者 1 名につき 2 名まで無料 3 人目から大人 普通旅客運賃の半額
運賃の割引	乗り放題パス		乗り放題パス旅客運賃表参照

乗り放題パス旅客運賃表

期間	大人・小児	家族会員
3 0 日	5 , 0 0 0 円	5 0 0 円

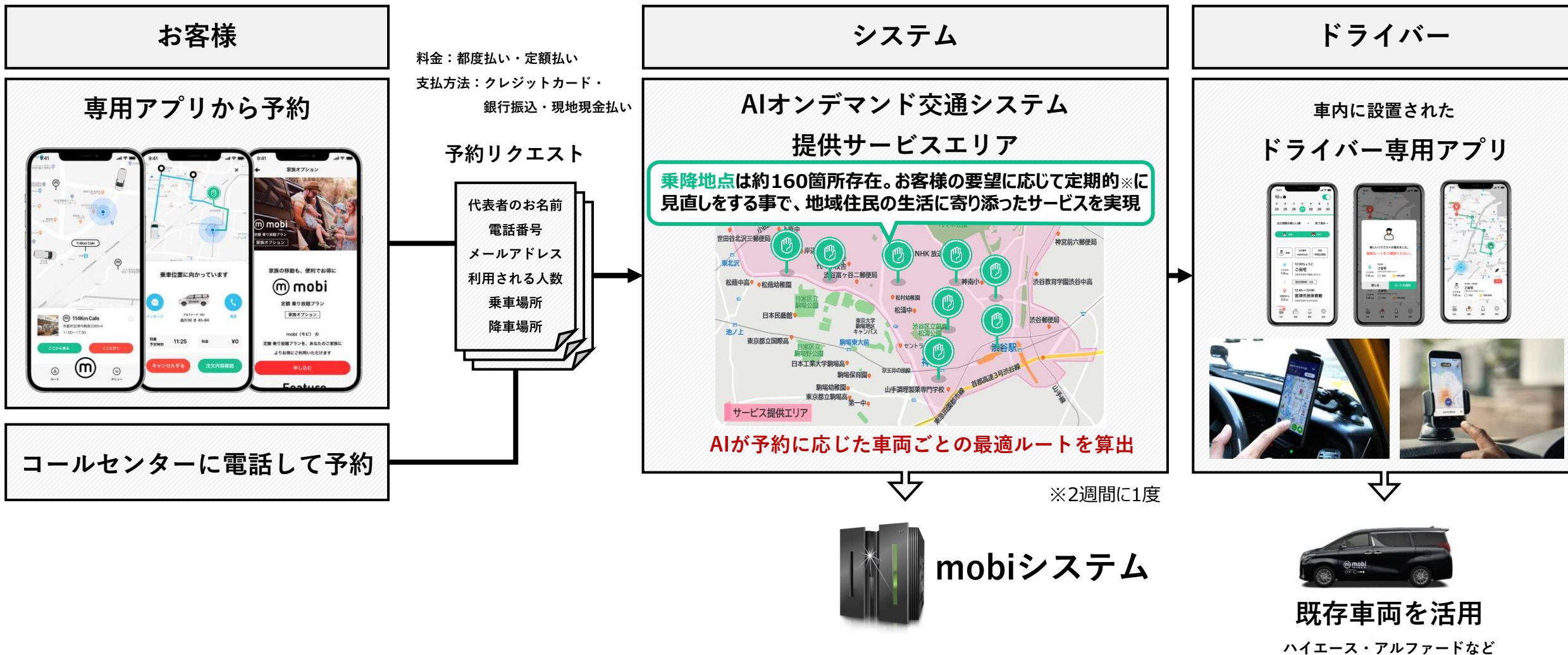
【利用条件】

- ・乗り放題パスを有する旅客は、期間内において回数制限なく利用することができる。
- ・乗り放題パスは、大人、小児同額とする。

・支払方法

項目	普通運賃	乗り放題・回数券
支払方法	・現金 ・クレジットカード	・クレジットカード ・銀行振込 ・口座振替
支払い タイミング	・降車時	・事前購入 ※アプリ又は電話で購入

徒歩・自転車・マイカーのちよい乗りに代わる、エリア定額制の新しい移動サービス
お客様の乗車要望に対して、AIでルーティングを実施。ユーザーの移動ニーズとドライバーをマッチングする仕組み



お客様が乗降地を指定して予約が成立するまで、4つのStepで完結
年代を問わず、利用が容易な設計となっている

Step1.乗降地指定



Step2.人数選択



Step3.確認画面



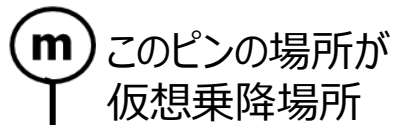
Step4.予約成立後



**mobiの乗降地点は、仮想乗降場所を設定している
特別目印となる看板や印は設けておらず、アプリ内で確認が可能**



※アプリ画面（イメージ）



このピンの場所が
仮想乗降場所



ピンをタップして
「乗降場所」を指定



予約完了後ドライバーと
チャットや電話機能で
連絡可能

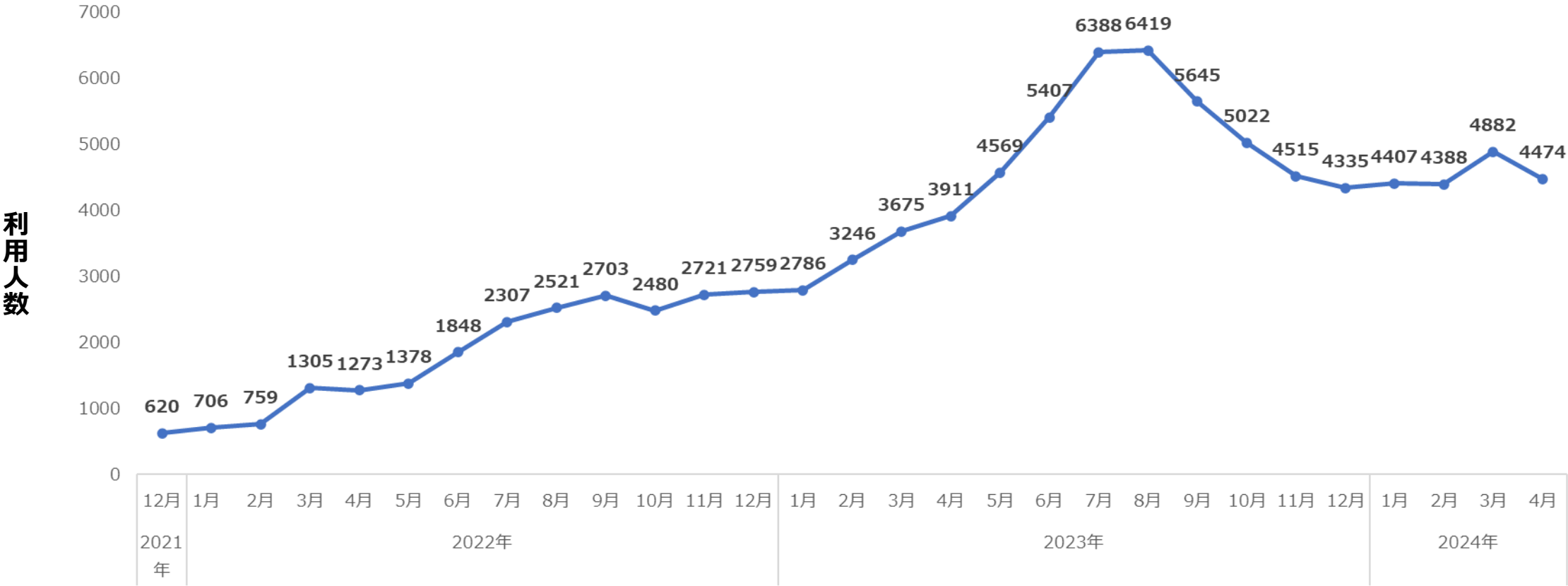
★車両の走行位置はアプリで常時確認可能。

2.実証実験の進捗共有

<運行実績：利用人数>

※2021/12/6～2024/4/30ご利用分集計

■ 月間当たりの利用人数は8月をピークに減少傾向で、直近では4,500人前後となっている



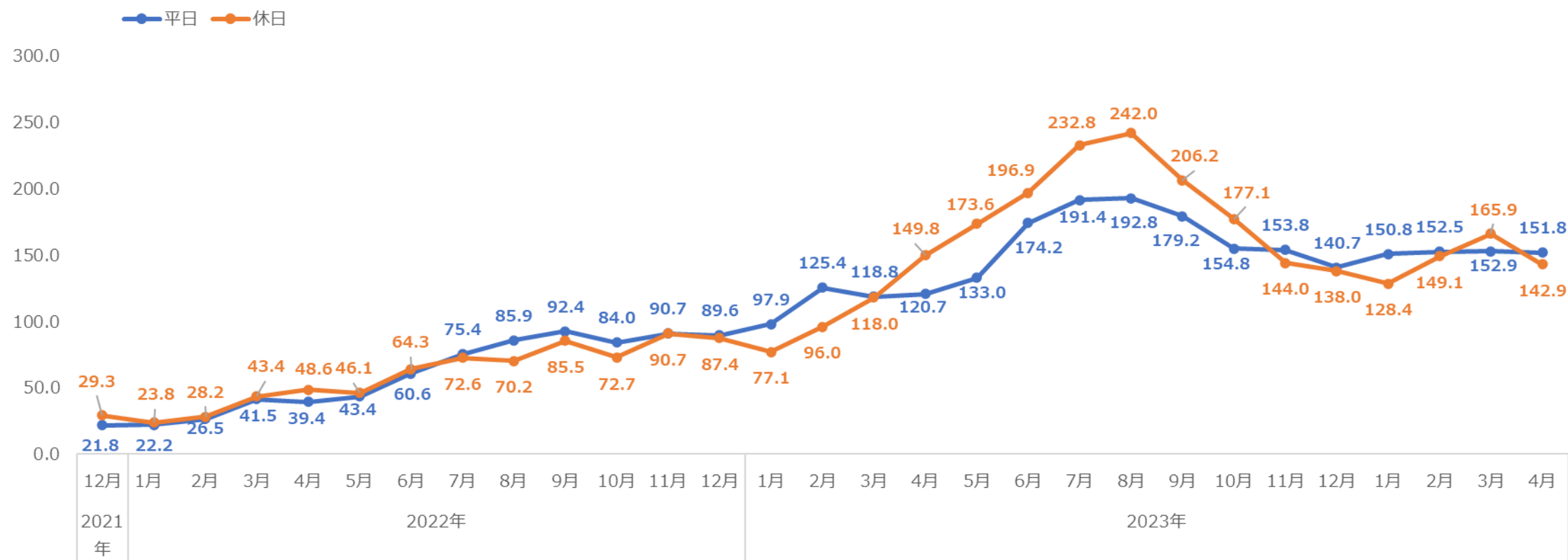
※12/6～12/31

2.実証実験の進捗共有

<運行実績：休日/平日の1日あたり利用人数>

※2021/12/6～2024/4/30ご利用分集計

- 休日/平日のいずれも、利用人数8月をピークに減少傾向
- 直近では、平日と休日に大きな差はない



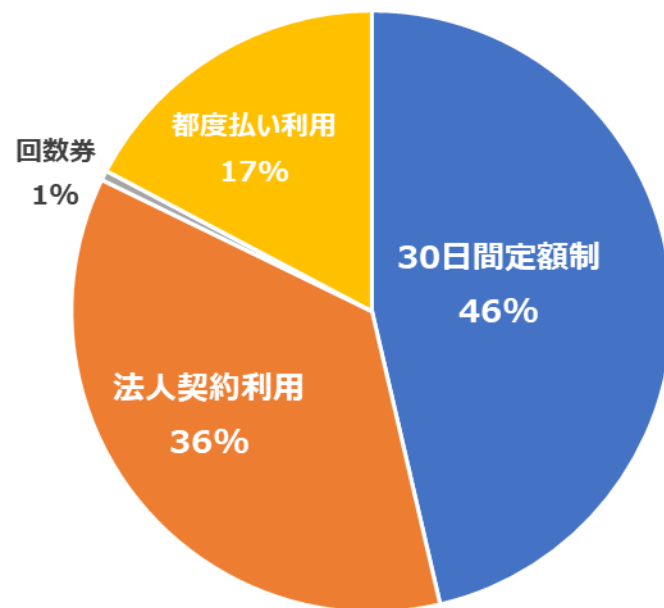
2.実証実験の進捗共有

<運行実績：利用種別割合/利用年齢割合>

※2021/12/6~2024/30ご利用分集計

- およそ半数が30日間定額制（乗り放題パス）を利用されている状況。
- 利用年齢割合は40代と50代が最も多く、20代~40代の若者・子育て世代の利用が6割以上を占めている

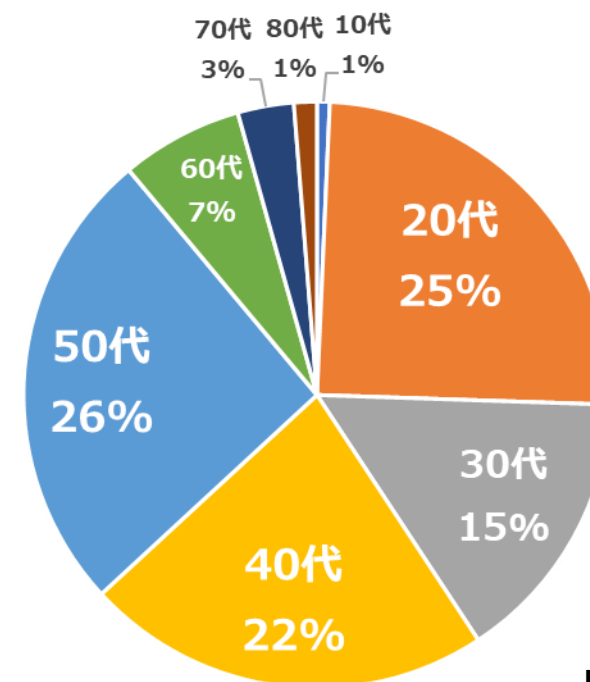
利用プラン割合



n=97,449

※30日間定額制：乗り放題パス 5,000円/月
※都度払い：普通運賃 300円/大人,150円/小児

利用年齢割合



n=36,794

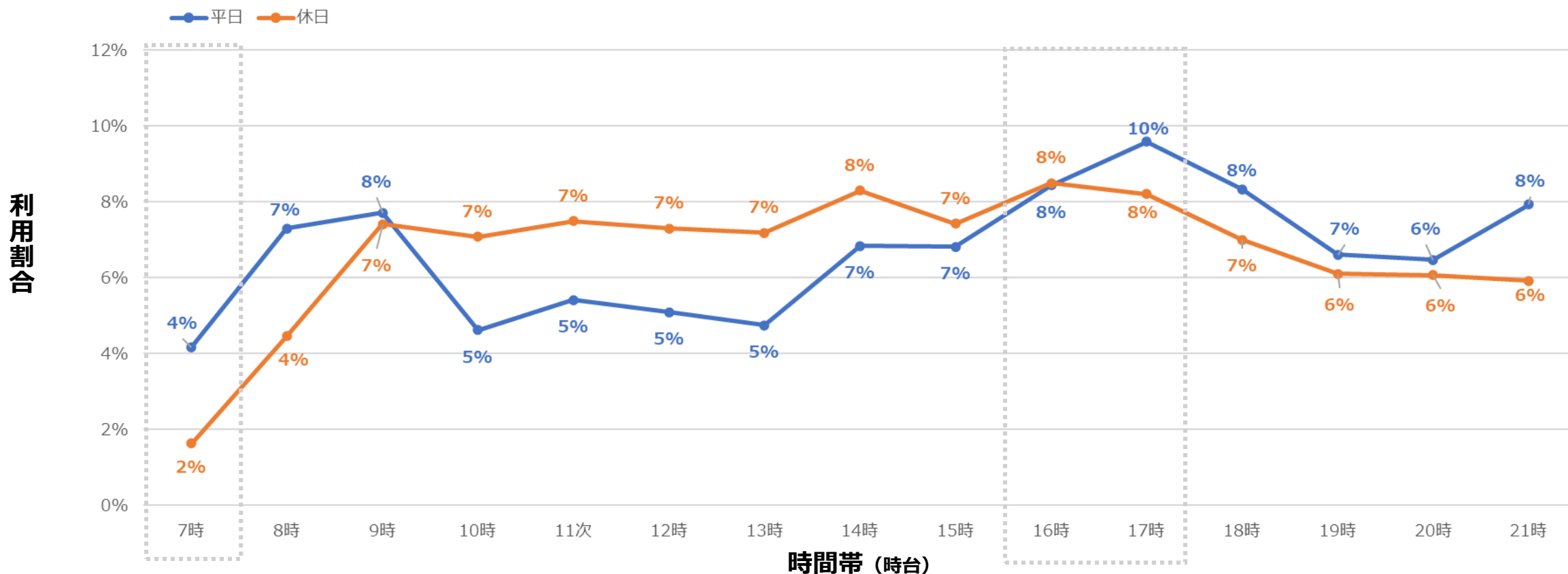
※年齢を記入した利用者数

2.実証実験の進捗共有

<運行実績：時間帯別利用割合>

※2021/12/6～2024/4/30ご利用分集計

- 時間帯別の利用割合は、休日と平日で大きな差分無し
- 休日と平日のいずれも朝7時台の利用割合は低く、16時台～17時台は高い傾向



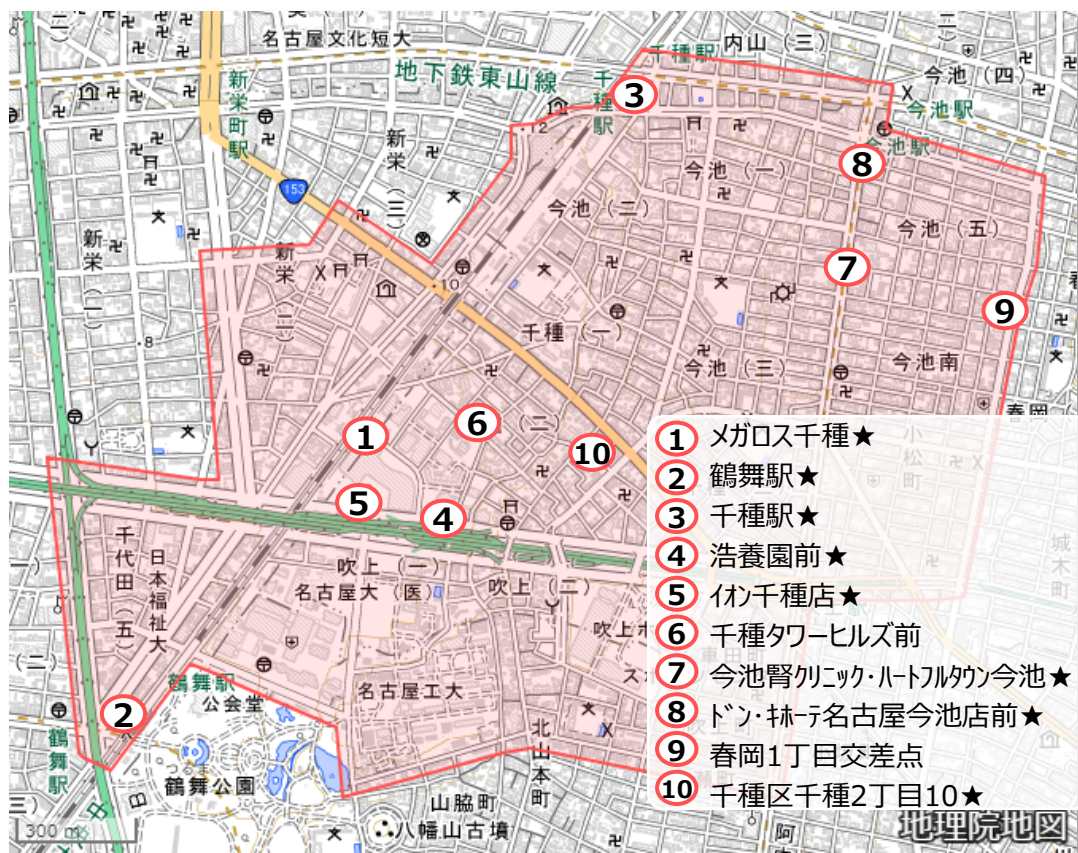
2.実証実験の進捗共有

<利用者の移動傾向> - 利用乗降場所傾向

・集計期間：2021/12/6～2024/4/30ご利用分集計

- 利用乗降場所傾向の把握を目的に、乗車/降車場所TOP10をそれぞれ可視化
- 乗車/降車場所のいずれも連携法人の浩養園がTOPであるが、駅前や小売店が人気上位にある傾向

乗車場所 - TOP10



降車場所 - TOP10



★は乗車地・降車地どちらにも含まれる場所 14

2.実証実験の進捗共有

<利用者の移動傾向> - 利用区間の傾向

2021/12/6~2024/4/30ご利用分集計

- 往来の傾向把握を目的に、利用区間回数TOP10をそれぞれ可視化
- **南北にわたる移動が多数を占める。中でも、駅周辺と提携法人の浩養園前を結ぶ区間の利用傾向が高い**

利用区間回数 - TOP10



- ① 浩養園前⇄鶴舞駅
- ② 浩養園前⇄千種駅前
- ③ メガロス千種⇄千種駅前
- ④ メガロス千種⇄鶴舞駅
- ⑤ 千種タワーヒルズ前⇄千種駅前
- ⑥ イオン千種店⇄鶴舞駅
- ⑦ 春岡1丁目交差点⇄千種駅前
- ⑧ たきざわ家具店前⇄今池腎クリニック・ハートフルタウン今池
- ⑨ イオン千種店⇄千種区千種2丁目10
- ⑩ 今池腎クリニック・ハートフルタウン今池⇄千種区今池2丁目27

2.実証実験の進捗共有

<運行実績：利用者の移動状況（路線バスとの比較）>

・集計期間：2021/12/6～2024/4/30ご利用分集計

- 東西にわたるバス路線に対し、mobiは南北の移動が多い傾向が見られる
- バス路線の系統とは異なる経路での利用が多く見られる

路線バスとmobi利用者の利用区間MAP

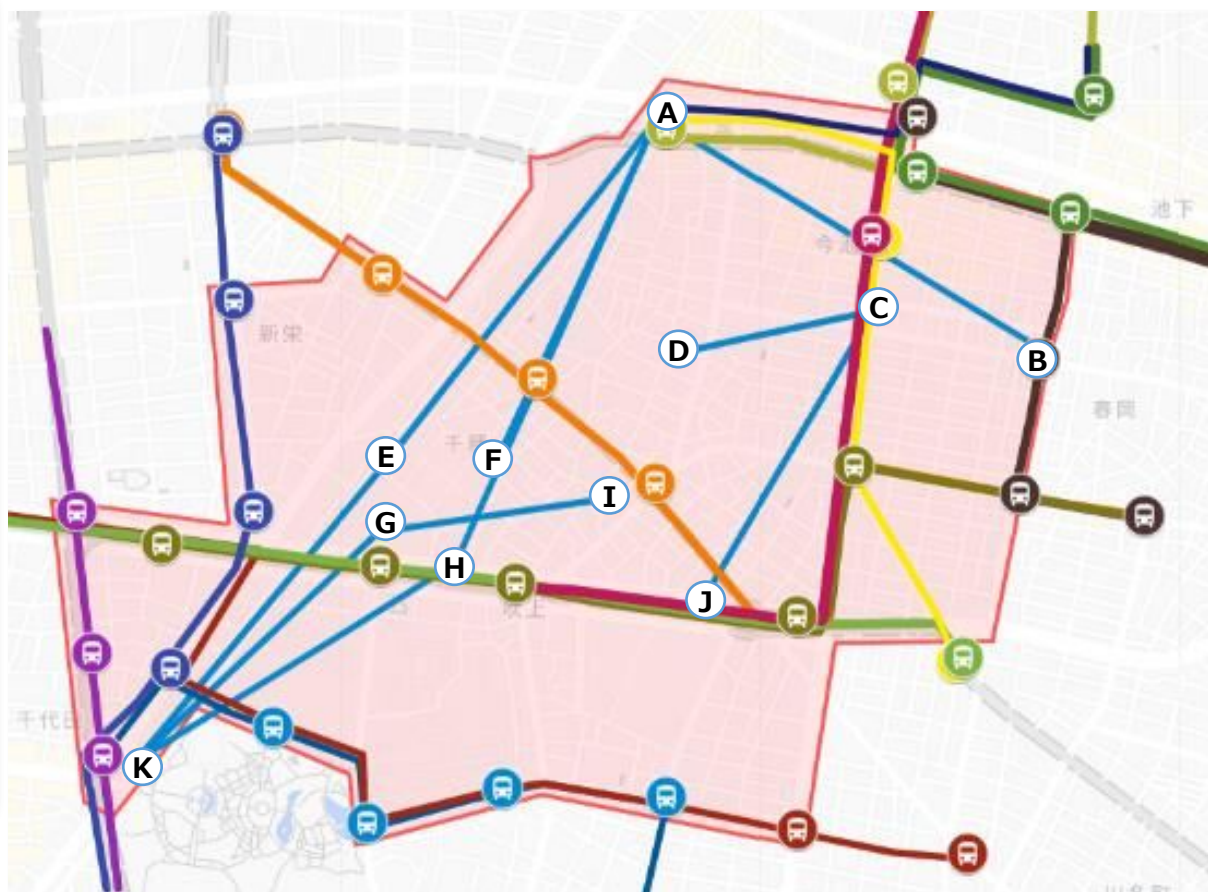
移動先の周辺施設

<凡例>

— mobi-往来回数TOP10

- 名古屋市営バス-栄18
- 名古屋市営バス-栄16
- 名古屋市営バス-千種巡回
- 名古屋市営バス-名駅17
- 名古屋市営バス-昭和巡回
- 名古屋市営バス-栄17
- 名古屋市営バス-千種13
- 名古屋市営バス-吹上11
- 名古屋市営バス-池下11
- 名古屋市営バス-鶴舞1
- 名古屋市営バス-八事12
- 名古屋市営バス-黒川12
- 名古屋市営バス-千種11

※深夜1系統はmobi運行時間外のため割愛
※栄20、栄26、基幹1系統はmobiエリア内は黒川12と同経路のため割愛



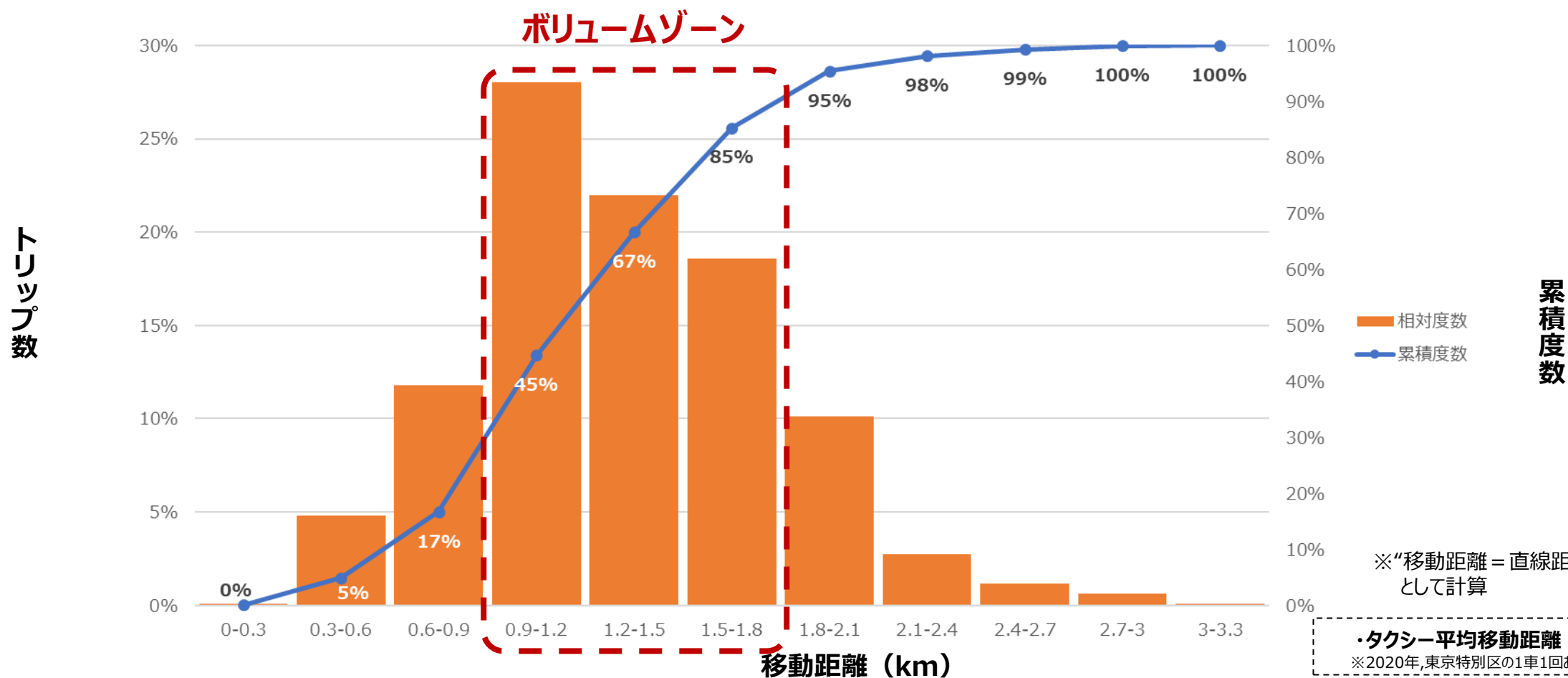
- A 千種駅前**
・教育施設：河合塾/秀英予備校/浜学園千種教室
- B 春岡1丁目交差点**
・介護施設：ハピネスらいおん
・教育施設：春岡小学校
- C 今池腎クリニック・ハートフルタウン今池**
・老人ホーム：ハートフルタウン今池
・病院：今池腎クリニック
- D 千種区今池2丁目27**
・住宅地
- E メガロス千種**
・娯楽施設：メガロス千種
・商業施設：イオン千種店
- F 千種タワーヒルズ前**
・病院：にいのみデンタルクリニック
・住宅地
- G イオン千種店**
・病院：吹上デンタルクリニック
・教育施設：名古屋工業大学/名古屋市立千早小学校
- H 浩養園前**
・飲食店：浩養園
・教育施設：名古屋工業大学
・病院：吹上デンタルクリニック
・小売店：イオンタウン千種
- I 千種区千種2丁目10**
・住宅地
- J たきざわ家具店前**
・公共施設：吹上ホール
・公園：吹上公園
- K 鶴舞駅**
・公共施設：中央図書館/公会堂
・教育施設：日本福祉大学/青焰美術研究所
・病院：横山記念病院

2.実証実験の進捗共有

<運行実績：利用者の移動状況（1台当たりの1回の移動距離）>

※2021/12/6～2024/4/30ご利用分集計

- 近距離（0.9～1.8km）の移動がボリュームゾーンとなっている
- 1.2km未満までの移動で約45%、**1.8km未満までの移動で約85%**を占めている



2.実証実験の進捗共有

<運行実績：乗合率>

・2022/4/1~2024/4/30ご利用分集計

- サービス開始から乗合率は増加傾向
 - 2月を時間帯別で見ると、17時台の乗合率が一番高く、36%である
- 乗合率向上のために、現状の打ち手としては、システム側の精度向上・乗降地の設置場所の見直し等。

▼4月時間帯別

	乗合数	予約数	乗合率
7時台	27	210	13%
8時台	38	198	19%
9時台	66	264	25%
10時台	19	192	10%
11時台	41	239	17%
12時台	51	219	23%
13時台	44	200	22%
14時台	40	235	17%
15時台	40	214	19%
16時台	52	212	25%
17時台	107	300	36%
18時台	69	230	30%
19時台	57	237	24%
20時台	57	224	25%
21時台	63	245	26%
22時台	0	0	0%



・乗合率 = 乗合数 ÷ 予約数
乗合数 = 全利用者の乗車回数のうち、乗合となった回数
予約数 = 全利用者の予約数

3.アンケート調査結果

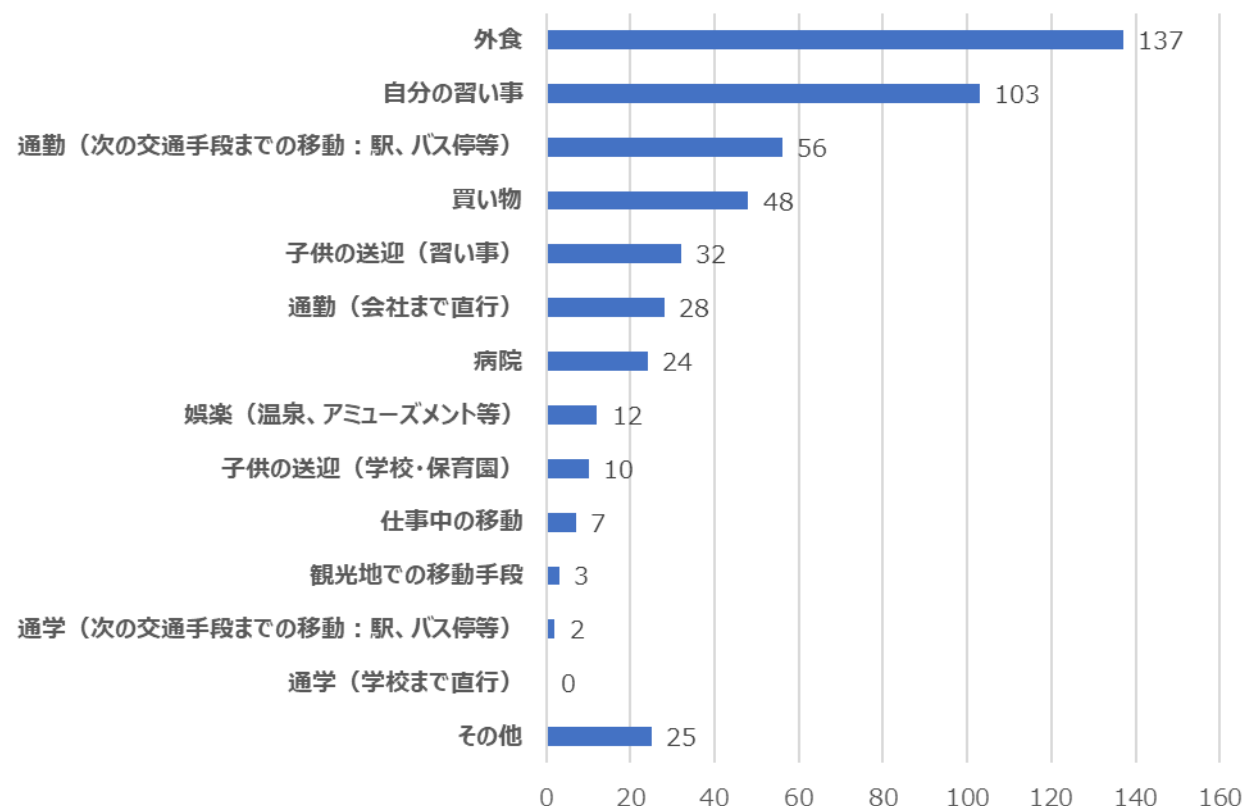
<mobi利用者へのアンケート調査> - mobiの利用目的

※2023年4月～2024年3月ご利用分集計
※対象者：千種区エリアでmobiを利用しているお客様

- 利用目的として「外食」と答えたお客様が最多数、次いで「自分の習い事」の回答が多い。
- 買い物や通勤時のご利用も多く、習慣的な移動にmobiを利用されている。

Q. 前月中、mobiをご利用された目的として当てはまるものを全てお選びください。

※複数回答可



総回答数=487

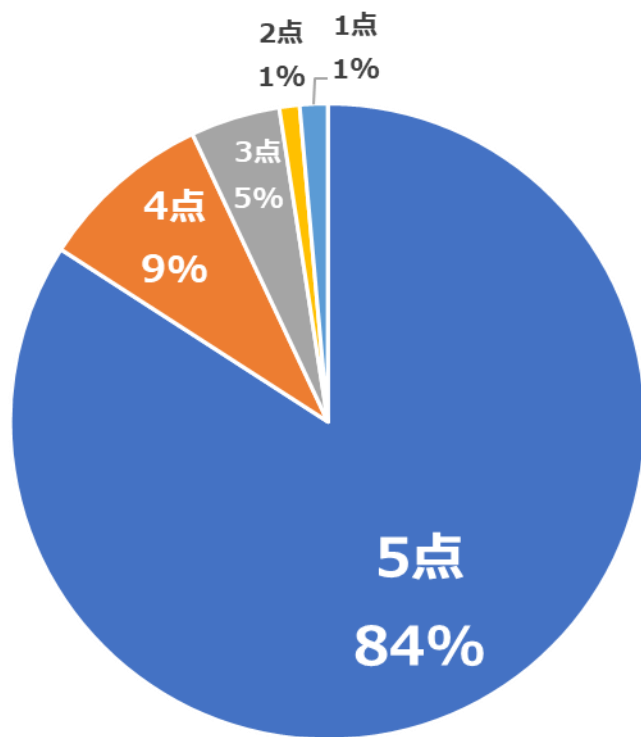
3.アンケート調査結果

<mobi利用者へのアンケート調査> - 乗車体験評価

※2021年12月～2024年4月30日ご利用分集計
※対象者：千種区エリアでmobiを利用しているお客様

- mobiの乗車体験評価は5点満点の割合が一番高く、**全体の84%が5点満点回答**
- 利便性やドライバーの対応への高評価が見受けられる

Q. 今回の乗車体験を5点満点で回答してください



回答総数=12,719

【お客様の声抜粋】

■ 5点満点回答者の声

- ・気遣いが素晴らしく、大変気持ち良く乗れました。またお願いしたいです。
- ・配車予定時間がこまめにアップされるようになって、**かなり使いやすくなりました。**
- ・**はじめての利用でしたが丁寧に教えてください**、またお客様目線で色々考え工夫されており融通の効く対応して頂き本当に気持ちの良い乗車でした。
- ・雨の日に利用しました。
マッチングしてからの待ち時間がとても短くありがたかったです。
- ・**今後も続けていただけると助かります**
- ・**暑い中、すごく快適に目的地にお送りくださり**、ありがとうございます。
- ・夜で子どもが居たので融通利かせて頂いてとても助かりました。
ありがとうございました！

■ その他回答者の声

- ・ブレーキが荒い ・車内の臭いが気になりました
- ・日によって運転の荒さが違いました。
- ・待ち時間が長すぎる 30分でした。
- ・予約の仕方が分かりにくいです。もう少し便利に使えると良いと思います。

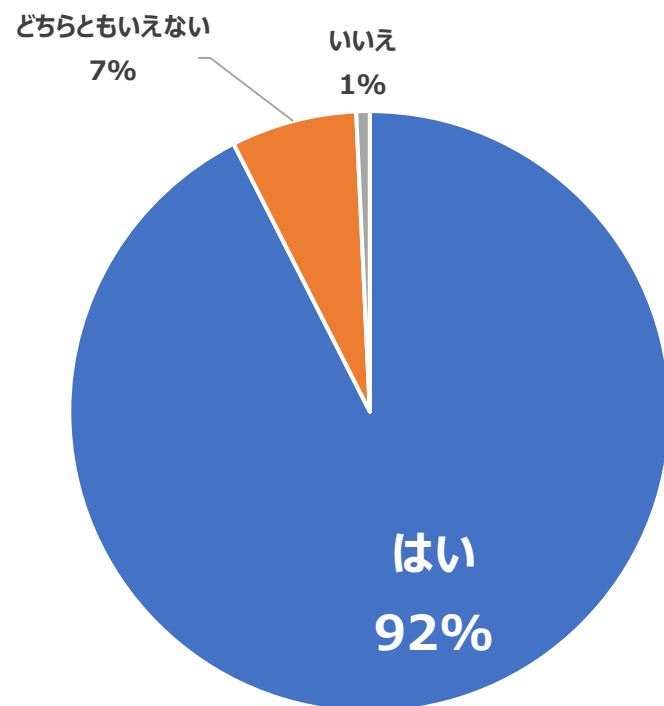
3.アンケート調査結果

<アンケート結果> mobi利用者へのアンケート調査 - 千種エリアにおけるmobiの必要性

※2023年4月～2024年3月ご利用分集計
※対象者：千種区エリアでmobiを利用しているお客様

- mobi利用者の92%が、千種エリアにおけるオンデマンド交通に対し必要性を感じていると回答
- 運行範囲の拡大や近距離移動の利便性向上のお声や、エリア範囲や料金、アプリの使い勝手に対するお声を頂戴

Q. 今後もこのエリアの交通手段としてmobiが必要だと感じますか。



総回答数=487

<お客様の声抜粋>

- ・**エリアの範囲をもう少し広げて欲しい**
- ・特定の時間帯で配車ができないか、30分以上の待ち時間が発生する。
混む時間帯の車両数を増やしてほしい。
- ・**自家用車の購入の必要性がなくなり経済的**
- ・**実家の近くでこういうサービスがあれば良いと思う**
- ・**生活に必要なサービスになった**
- ・**このサービスを続けて欲しい**
- ・ドライバーの対応に差がある
- ・便利ではあるが、乗り放題の料金が高い
- ・時間予約はできないので、乗りたい時刻や到着したい時刻を小まめに確認しながら予約する必要があるのが、面倒に感じることもある。
- ・乗り場の案内板があっても良い

実証4年目（本格運行）に向けた考え方

2021年12月に実証を開始し、当初の月の利用者は約600名ほどであった「mobi」は運行約2年半を経て、**月平均4500名**のお客様がご利用される交通へと成長いたしました。加えて、オンデマンドが千種エリアで担う地域交通役割として**「短い距離の移動に活用するもの」**という、他運行形態との役割分担も確立してきております。

当社としましては、実証期間終了後も、千種エリアにおいては、本格運行に移行し、**「更なる地域の方に寄り添った交通手段」**に成長させていきたいと考えております。（次ページ①）

一方で、昨年よりご指摘いただいております**「事業の継続性」**という部分については、前回の協議会でも報告させていただいた「コミュニティセンターとの法人契約」など、**「収益源の多様化は着実に図れている」**ものの、現状の収支状況については、持続可能といえるほど充足しているわけではありません。（次ページ②）

本日は、**「持続可能な交通への成長に向けた今後の収支改善策」**について、考え方、今後のスケジュールについてご報告させていただきます。

2.①【地域への取り組み】千石コミュニティセンターとの法人契約

【24年4月1日より千石コミュニティセンターと法人契約を締結】



習い事

イベント
参加

友人との
交流

人が集まると企画・施策が増える。
結果、地域活性・経済活性に繋がり、収益化につながる施策展開への
実現可能性も大。

mobiは単なる移動手段の一つではなく、移動したその先に広がるコミュニティの形成、
千種エリアに住む住民の皆様の「**生きがい**」を創出することを目指しています。
コミセンの法人契約の他、今後も地域の活性化につながる移動手段・交通になり得るよう、
地域の方々と協働しながら、アイデアの創出を行っていきたいと考えています。

Community Mobility Philosophy

人とひと、人とまちをつなぐ

安心で環境にやさしいモビリティサービスの提供を通じ、
みなさまと共に健康的でワクワクする毎日の暮らしを創ります。

3.②収支構造【運賃収入と非運賃収入】

【mobiの売り上げの内訳】

AIオンデマンドシステムmobiについては、その売上として、主に、①**ご利用者からの運賃収入（法人契約も含む）**と、②**車内広告等の非運賃収入**に分けられる。

運賃収入

○ご利用料

ワンタイム：300円

1か月乗り放題：5000円

○法人契約

契約先の乗降地を利用するお客様は無料

月の利用回数に応じた金額を店舗（契約先）より
お支払いただく

→現在、千種エリアでは4店舗と契約中

非運賃収入

○広告収入

車内広告、車体ラッピング広告など

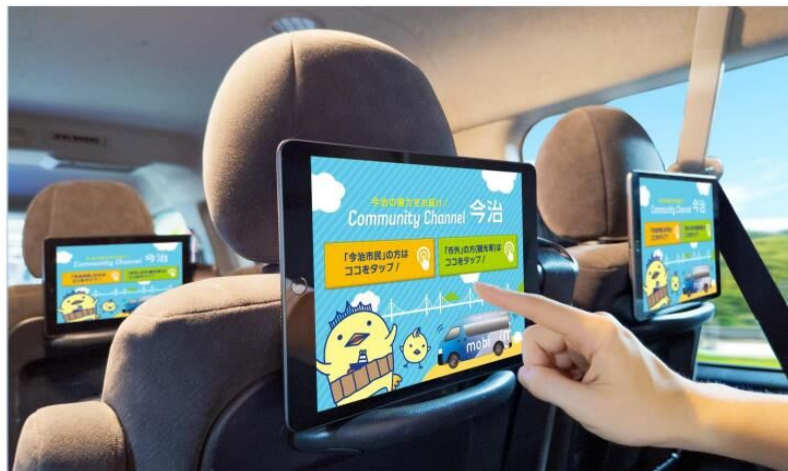
○スポンサー収入

「広告」という枠にとらわれず、「mobi」と共創を行う
ことにより、スポンサー側にとって、ブランドの認知
拡大、商品・サービスのPR、新規顧客獲得のための
新しいプラットフォームの獲得を実現する。

**現在、千種エリアの売り上げのすべてが「運賃収入」となっているため、
今後は「非運賃収入」の拡大が必須**

4.②参考：非運賃収入に関する他エリアの事例

Omobi今治エリアにてCommunityChannel（車両サイネージ）の運用開始



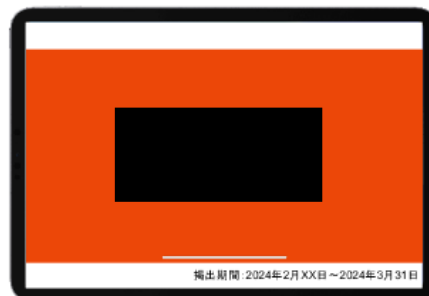
- ・ “ふれるとまちが動き出す”をコンセプトに2023年11月1日より始動
- ・ 2024年2月より、有料の出稿を受付開始。
- ・ 現在、今治エリアでは6社と契約を締結。今後も拡大予定。

Omobi豊島エリアにて、企業広告を掲載

豊島区で運行しているmobiにおいて、
企業さまの番組PRを目的としたタイアップを実施

実施期間
2024年2月～3月の2か月間

サイネージイメージ



車両ラッピングイメージ



実際の運行車両

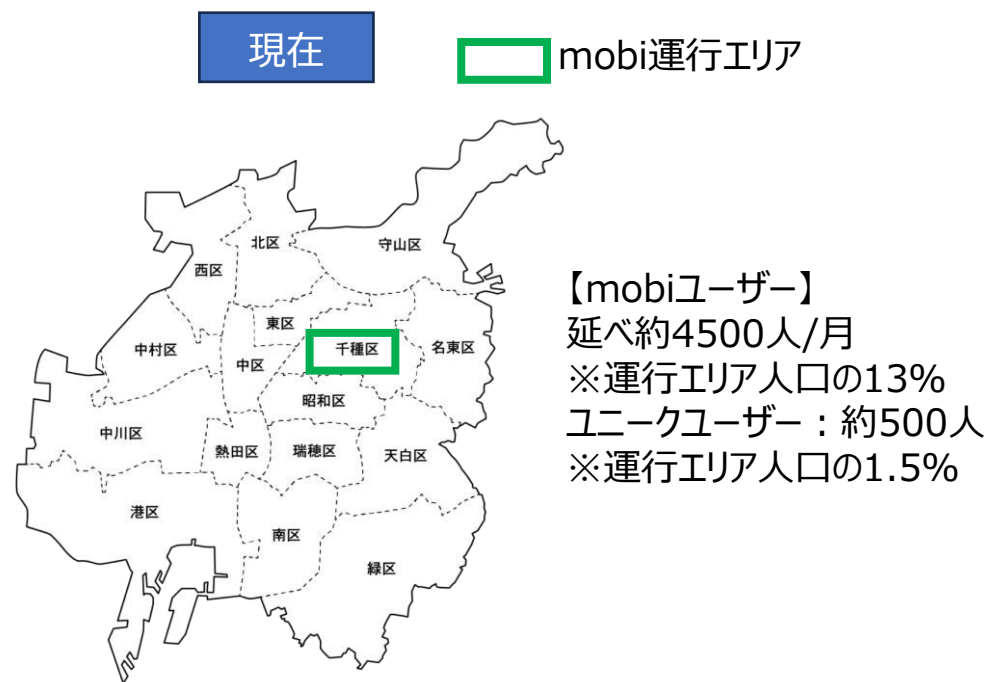


5.千種エリアにおける非運賃収入の拡大に向けて

【千種エリアの現状】

非運賃収入を拡大する上で、重要な要素は「**mobiの市場規模**」。現状は、ピークで月6000人強、月平均約4500人が乗車する交通ではあるものの、ユニークユーザー数は約500名、運行エリアの広さは約2.97km²と、市場の規模からみると、**非運賃収入の拡大に向けては十分ではない**。今後は、mobiのエリアを拡大し（特に名古屋圏）、mobiの利用者を含めた市場を拡大させ、それに比例する形で、非運賃収入を拡大させていく。

※イメージ



将来的に

オンデマンドの需要がある
エリアに対し、mobiを訴求
させていただくとともに、
収益化につながる市場に
（エリア・利用者の規模大）
成長させていく